

取組概要

佐伯市では、佐伯市保幼小連携協議会を設置し、保育園（所）及び幼稚園並びに小学校の相互の連携や理解の促進を図り、一貫した指導体制を確立することで、子どもの学びの連続性を確保するとともに、幼児教育・保育の質の更なる向上を図ることを目的として、小学校教員による保育参観、幼児教育施設職員による小学校授業参観等を行い、指導者同士・カリキュラム・子ども同士がつながる取組を推進している。

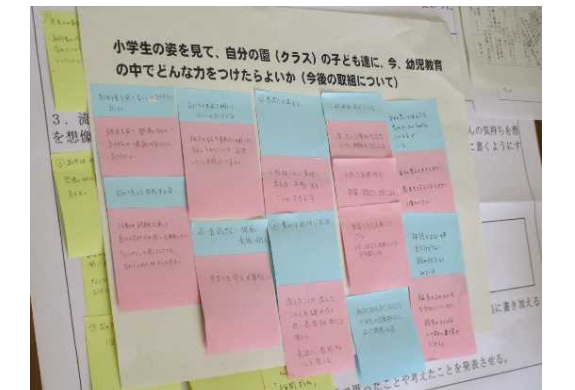
工夫・ポイント

【小学校の授業を幼児教育施設職員が参観】

- ◆第1学年の授業を参観し、子どもの発言・姿や教師の関わり等から、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」とのつながりを協議する。
- ◆第1学年の子どもたちの姿から、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を手がかりに、小学校での教育を見通しながら、その基盤となる資質・能力をどのように育成していくかを協議する。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を手がかりに、授業で見られた1年生の姿について協議

1年生の授業を参観（国語科）



小学校以降につながる資質・能力について協議



【参加園】よのうづ幼稚園、八幡幼稚園、鶴岡幼稚園、八幡幼稚園、さくら保育園、ふれあい保育園、松浦保育園、ルンビニこども園、つるおか保育所、にじいろこども園、認定こども園カトリック佐伯幼稚園、さいきこども園、みなみこども園、なおかわこども園、花みずき保育園、しろやま共同保育園